

# 釜ヶ崎講座ニュース NO・48

2016年6月16日

釜ヶ崎講座

大阪港郵便局私書箱40号

大阪市西成区菟の茶屋1-9-7

釜ヶ崎日雇労働組合気付

事務局090-2063-7704

Mail [kamakouza@cwo2.bai.ne.jp](mailto:kamakouza@cwo2.bai.ne.jp)

<http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>

<http://blogs.yahoo.co.jp/kamagasakikouza>

郵便振替00940-1-132778

季節は梅雨のなか、今のところ雨量は少なめですが、じめじめした日々が続いております。皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。釜講座ニュース発行、遅れまして、いつもすいません。皆さんの常日頃からのご支援、ご賛同そしてご協力で紙面をかりまして厚く御礼申し上げます。

さて釜ヶ崎では寄り場をそなえた新シェルターの完成、機能化の中、今年も第45回目の釜ヶ崎夏祭りの開催が目前にせまっております。

今年の夏祭り期間は8月13(土)~8月15日(月)での開催、なお8月12(金)の夕刻より夏祭り前夜祭となっております。例年どうり最終日の15日は夕刻より慰霊祭が予定されこの1年間の中、志なかばで他界された釜の仲間の冥福を祈り、真に暮らせる社会の創出のためこころ新たにとの願いをこめて皆で黙とうします。

平和で戦争も失業もない暮らしやすい社会をめざし、そして故郷を懐かしみ皆で心をやす、この釜ヶ崎夏祭りの取り組みにご賛同をいただき期間中のご参加をお願いいたします

## 1・「特掃見学ツアー」、「釜歩きツアー」開催のお知らせ

今第45回夏祭り期間中、釜ヶ崎講座は8月13日(土)に特別清掃事業見学を、翌日、8月14日(日)に水野阿修羅さんガイドの恒例釜ヶ崎歩きツアーを行います。それぞれの参加日、お間違えのないようご注意ください。なお「特掃見学」ですが、ご参加の

方は作業出来る服装でのご参加お願いいたします。半袖、スリッパ・サンダル履きでの参加は無いようにご注意ください。

「特掃見学ツアー」

集合日時 8月13日(土)午前7時30分

集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所

問い合わせ 090-2063-7704 (講座事務局)

「釜ヶ崎歩きツアー」

集合日時 8月14日(日)午後1時

集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合前

問い合わせ 090-2063-7704 (講座事務局)

- ◆ なお、どちらも参加費、事前申し込み不要ですので、お気軽にご参加ください。
- ◆ 再度で申し訳ございませんが13日の「特掃ツアー」は服装(半袖、スリッパ・サンダル履き不可)の厳守お願いいたします。なお各日猛暑が予想され、熱中症対策のほど、よろしくお願いいたします。

皆様のご参加、お待ちしております。

## 2・ 第10回釜ヶ崎講座学習会開催のお知らせ

「ホームレス問題をしっかり終わらせるために

釜ヶ崎からできることをしよう」

講師 松本 裕文さん(釜ヶ崎支援機構事務局長)

日時 7月16日(土) 午後6時30分～

会場 西成市民館3階講堂

(西成区萩之茶屋2丁目9-1 ☎06-633-7200)

JR 新今宮駅から徒歩 10 分、南海菟の茶屋駅から徒歩 6 分  
資料代 500 円

上記、ご覧の表題で学習会をやらせて頂きます。皆様のご参加をお待ちいたしております。お気軽にお越しください。

さて今回の学習会は皆様ご記憶に新しいと思いますが昨年末、12月5日行いました「第22回釜ヶ崎講座講演のつどい～取り残されるホームレス問題の解き口を探して～」の続編、発展バージョンとなると考えております。講師も今回も釜ヶ崎支援機構事務局長、松本裕文さんをお願いすることができました。今回はホームレス支援法の法的意義、新たに施行の困窮者支援法の限界性等、松本さんのバリエーションに富んだ語りと多様な資料で認識を深めることが出来たとおもいます。今回はさらに何故ホームレスと呼ばれ、この社会で放置し続けられるのか、国と国民の人権感覚(支援者側もふくめて)の在りようや現実の釜ヶ崎に生活する側の感覚、主張の今がどうなのか、最終的にホームレス問題を終息させるためには私達に何が必要なのか、行動のための提起をしていただき認識のすそ野をひろげられればとかがえております。どうか皆さんの進んでのご参加をお待ちしております。

これより昨年末の第46回釜ヶ崎越冬闘争のとりにくみ等、これまでの簡単な報告を以下させていただきます。

### 3・第46回越冬闘争の取り組み、仲間の団結で成功す。

釜ヶ崎講座は12・30越冬行動デーと新年の

恒例釜歩きツアーを挙行。多くの参加者でもりあがる。

また1月4日のお礼まいり行動(対市・府要望書提出行動)

にも参加。

2015年12月28日から新年2016年1月4日まで第46回釜ヶ崎越冬闘争が多くの内外の仲間の団結の力で成功裏にうちぬかれました。今回は完全に釜ヶ崎地域内の「臨泊」が実現、NPO 釜ヶ崎支援機構の主導で「新シェルター」にての臨泊体制を5

日間、のべ 400 名の雇用創出で仲間うちでの取り組みでした。文字どおり労働者が労働者を相互支援したのです。釜ヶ崎講座は新春 1 月 3 日の「釜ヶ崎歩きツアー」当日に新シェルター見学を支援機構さんの配慮にてさせてもらい、食事の準備等、かいがいく立ち働くスタッフ、労働者の姿を水野阿修羅さんの説明を聞きながら学習できました。失業と野宿を真に終わらすためには並々ならぬ労力、知力、そして協力の力が必要、このことをまのあたりにすることができたと思います。

また 講座主催での越冬行動デー、釜ヶ崎歩きツアーには延べ 20 名のご参加をいただき、参加された皆さん、播磨や奈良など遠隔地方からの参加の方をふくめ大変御苦労さまでした。今回、水野阿修羅さんの説明では「西成特区構想事案」に関連した労働センター等の移転・建て替え工事の中身が今だハッキリしないことが語られ、野宿(越冬闘争期間中もセンター周辺を中心に 150 名以上の人が野宿、地方から流れてきた若年者も混じる)・失業の状態は続いているとお話でした。

そして釜ヶ崎講座は 1 月 4 日には早朝よりセンター下にて「お礼参り行動」に向けての決起集会に参加、バス「勝利号」にて大阪市、府にそれぞれ要望書行動に向かいました。現地では役人のまえで越冬期間中、相当数の臨泊、野宿者があること。それはホームレス自立支援法に基づいた就労支援と雇用機会の具体的保障がおこなわれていないことに要因があることを訴えていきました。渋い顔をして要望書をみる役人をしっかりと見据えて、私達はこの日の行動を貫徹しました。(この項おわり)

## 4・ 5・1 釜ヶ崎メーデー闘われる。

この日、既存労働運動からも長年無視され続けてきた釜ヶ崎日雇労働組合を先頭とする釜ヶ崎労働者が安倍政権打倒、特掃月 13 日獲得をかかげ第 46 回釜ヶ崎メーデーに決起しました。

センター下、7 時ちょうどに集会は熱気の中開催、支援にかけつけた学生、市民、諸団体が取り巻く中、非正規、下層で苦しむ全国・全世界の労働者と固く連帯し戦争と失業を押し付ける安倍政権打倒、就労拡大、若年労働者切り捨て反対を訴えました。学生の支援の仲間は越冬でつちかわれた連帯のきづなでさらに共闘の意識を強めていくと訴えました。釜ヶ崎講座も社会的就労のしくみづくりの取り組みにだんこ連帯しながら活動を強めたい旨、発言しました。約 150 名の隊列で釜地域内を行進していきました。(この項おわり)

◆最後で恐縮ですが、釜ヶ崎講座は皆さまのカンパにて運営されております。引き続き、ご協力宜しく願い申し上げます。振込用紙同封しております。(事務局)

